

# 公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

## 研修報告書 (2018年度 助成者)

作成日 2018年8月20日

氏名 (フリガナ)	佐藤 眞 (サトウマコト)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2018年8月13日 (月) ~ 8月18日 (土)
大学名	東京慈恵会医科大学
学年	5年

まず初めに日米医学医療交流財団の皆様、指導して下さった先生方、HTICの職員の方々、医学部夏期集中医学英語研修プログラムに関わる方々に感謝申し上げます。

自分が将来医師を目指す上で、大変貴重な糧を得ることのできた1週間でした。

私は海外での医療に興味があったものの、英語での問診やプレゼンテーションなど具体的なスキルについて学ぶ機会とあまり接点がありませんでした。そんな中今回この研修に幸いにも同期の友人の誘いで参加させていただきました。参加する前は期待と不安で複雑な気持ちでしたが、参加した後は充実感で満ちていました。自信を持ってこの研修を受けて良かったと思えますし、心から後輩にも勧めることができます。

しかしここまでの達成感を得るまで、決して楽な1週間ではなかったのも事実です。2日目研修開始早々のプレゼンでは、英語でここまで何も喋れないかという大きな挫折感を味わいましたし、この先1週間やっていけるのだろうかとても不安に感じました。ですが今こうしてポジティブな感想を持てるのは、その後の研修で、ハワイ大学の学生の皆さんやShon先生や小林先生、野木先生はじめ様々な先生方が丁寧にご指導して下さったからだと思つづく思います。この研修の大きな利点はそこにあると強く感じます。指導と一言に言っても、単純な一方の講義形式でなく、模擬患者との対話の中で自分で思考し表現して、そして先生や学生からフィードバックを受ける双方向の指導であるのが、自分の欠点を理解するのに大きく役立ちました。何よりアメリカの実臨床で活躍されている先生方に直接意見を伺えるのはそれだけでもモチベーションにつながりましたし、そのアドバイスを活かして自分が成長できてるなど実感できるのも、この研修での印象的な部分でした。

この研修でのもう一つ大きなアドバンテージは、アメリカの医療の実際というものを、多くの先生方の様々な視点から垣間見れる点にあります。この研修では色々な立場で活躍されている先生方が、その先生の医師キャリアを絡めて講演して下さいます。アメリカの医療という実際に見ることのない、イメージでしか想定できない世界について、先生方の話を通して具体的に知ることができるのは、これもまたモチベーションに直結しました。日本にいては、短期間にこれだけ多くのアメリカの臨床に関する情報を得ることはなかったと思います。

そして研修の内容自体とは別にHTICの皆さんのホスピタリティにも大変感謝しております。種々の引率や案内、学生が研修で学びやすい環境づくり、そしてハワイを楽しめるような様々な心遣いをしてくださいました。この研修でかなり強く印象に残っている点です。

医師を目指す身として、とても得るものが多かった1週間だと感じます。

最後になりますが改めてご指導下さいました先生方、東海大学およびHawaii Tokai International Collegeの方々、そして日米医学医療交流財団の皆様に変更して御礼申し上げます。ありがとうございました。

